

瑞穂市図書館だより

「読書のまち みずほ」をめざして、子どもの読書活動を推進しています。

2025. 11第114号

本館 058-326-2300

分館 058-328-7070

暑い日が続いていましたがようやく過ごしやすくなり、朝晩はぐっと冷え込むようになりました。体調には十分お気をつけください。

図書館では『始まりの一行で本を選んでみませんか』や『もくもくみずほ 積み木ワークショップ みんなで未来のまちをつくろう!』、『ストーリーテリング (5歳以上におすすめ)』などを開催します! 詳しくは館内ポスターや図書館HPをご覧ください。

11月のイベントカレンダー

<https://www.library-mizuho-gifu.jp>

日	月	火	水	木	金	土
11/2(日)は、みずほふれあいフェスタ 2025 のため 分館は臨時休館になります。						1 ＜本館＞ 始まりの一行 ＜分館＞ ストーリーテリング
2 ＜分館＞ 臨時休館	3	4 休館日	5	6	7	8 ＜本館＞ 製本ワークショップ ＜分館＞ おはなしの会
9	10 休館日	11	12	13	14 ＜本館＞ 未就園児向け おはなしの会	15 ＜分館＞ おはなしの会
16 ＜本館＞ 映画鑑賞会	17 休館日	18	19	20	21 ＜本館＞ わらべうたで あそぼう	22 ＜分館＞ おはなしの会
23	24 ＜分館＞ もくもくみずほ	25 休館日	26	27	28 ＜分館＞ 未就園児向け おはなしの会	29 ＜本館＞ ストーリーテリング ＜分館＞ おはなしの会
30	「おはなしの会」 「未就園児向けおはなしの会」 「映画鑑賞会」					【分館】 毎週土曜日 14:30～ 絵本フロア 【本館】 第2金曜日 10:30～ おはなし室 【分館】 第4金曜日 10:30～ 絵本フロア 【本館】 11/16、3/15 10:30～ 2階・学習室 定員20名

新刊PICKUP!

一般・児童



『疫病退散たべもの記』

<383.8/ヨ>

吉野 りり花 // 著 論創社

医学が十分に進歩していなかった時代、人々は病気や疫病の流行に対して加持や祭、まじないで鎮めようとしていました。本書では全国のような願いを込め、病と向き合ってきたのかがわかります。



『プリンセスの魔法のレシピ』

<596/カ>

川田 雅直 // 著 原書房

実は、おとぎ話は国や時代、語り手によって様々なバージョンが存在します。本書はそんな世界中のおとぎ話絵本の挿絵や物語の一部を味わいながら、物語の中に登場する食べ物も作ることができるレシピブックです。美しいアンティーク絵本コレクションは見るだけで楽しく、物語の世界へと誘ってくれます。

※他にもまだまだあります♪ 一般(毎週土曜日発行)・児童(隔週土曜日発行)の新刊案内をご覧ください。両館お取り寄せできます。貸出中の場合は、予約できます。お気軽にお尋ねください。



『鳥たちが彩る日本史』

<488.0/オ>

大橋 弘一 // 著 山と溪谷社

清少納言とホトトギス、源氏とハト、松尾芭蕉とキジ……。歴史上の人物と野鳥たちとの意外な関係を、和歌や物語、伝承を通して解き明かします。また、鳥名や生態にも触れられていて、鳥について深く知ることができます。「そうだったのか」と驚くエピソードも満載。鳥と歴史の知られざる一面をお楽しみください。



『サンタがふたり?』

<E/ス>

スズキ トモコ // 著 講談社

クリスマスイブ、それはサンタさんとケーキ屋のマルタさんにとって一年で一番忙しい日です。サンタさんはトナカイのソリにのってプレゼントを配り、マルタさんは弟子と一緒にケーキを作っています。そんな二人がひょんなことから入れ替わり、お互いの仕事をするようになって…? ユーモラスで楽しいクリスマスのお話です。

本館 テーマブック

今月のテーマ
『あゝ昭和』



もし昭和が続いているとすれば、2025年は昭和100年にあたります。戦争からの復興、高度経済成長、バブル経済など昭和は激動の時代でした。今は国民の約7割が昭和生まれ、約3割が平成以降の生まれとなり、昭和を知らない世代も増えています。そんな昭和を歴史や暮らし、文化、小説などから振り返ってみたいと思います。



『松本清張の昭和史』
中央公論新社

保阪 正康 // 著
210.7/ホ



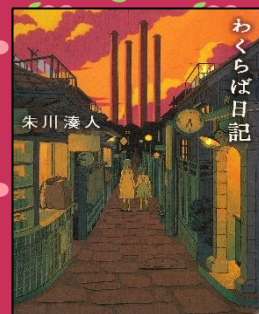
『昭和な暮らし方』
河出書房新社

小泉 和子 // 著
590.2/コ



『昭和の
レトロパッケージ』
グラフィック社

初見 健一 // 著
675.1/ハ



『わくらば日記』
角川書店

朱川 湊人 // 著
913.6/シ

分館 テーマブック

今月のテーマ
『秋を楽しもう！
(自然・芸術・味覚)』



『60秒のきせき』 <E/へ>

レズリア ニューマン // 文 エイミー ジューン バイツ // 絵 評論社
音楽家のモシェは町で子ネコと出会い、ケツェルと名付けます。ある日、60秒以内の曲を作るという仕事にモシェが頭を抱えていると、ピアノの鍵盤の上をケツェルが歩いて音を出し…。アメリカで本当にあった小さなピアノ曲誕生のお話です。身の周りの何気ない小さな出来事が奇跡につながることもあるのですね。

リブ
L・I・B

ヤングアダルト

YA向け おすすめの本



『運命を変えるチャンスはなぜか突然やって来る』

<児/914/イ> 今村 翔吾 // 著 岩波書店

小学生の時、ある歴史小説と出会ったことがきっかけで、本が好きになった今村翔吾さん。将来の夢は作家になることでしたが、就職したのはダンス教室の先生。回り道をしながらチャンスをつかみ、直木賞作家となった今村さんは、どのようにして夢を実現したのでしょうか？ 自らの体験から、夢の叶えかたをアドバイスしてくれます。



『ことりの古民家ごはん』 <913.6/キ>

如月 つばさ // 著 星雲社

都会に佇む老舗の弁当屋で働くことり。家庭環境が原因で人付き合いが苦手な彼女は、あるきっかけから母の住む島に引っ越し、縁あってごはん屋さんを開くことになる。ほっと息をつける家のような場所にしたい。そんな思いを込めて始めたごはん屋さんを通じて、周囲の人たちと関わり少しずつ前を向いていく、温かい再生の物語です。

図書館ホームページ

リニューアルのお知らせ

ホームページが10月31日よりリニューアルしました！

スマートフォンからもわかりやすいレイアウトになりました。タップしやすいメニューで、移動中や外出先でも気軽にアクセスできます。

お知らせ・イベント情報・図書館カレンダーのチェック、本などの検索・予約をすることができます。

※本などの予約をする場合は事前にインターネットサービスの登録が必要になります。

※これまでと同じURLでご利用いただけます。

